

# データリンク（概要編）

## 目次

### データリンクの概要

データリンクとは	2
データリンクの起動	2
[タイプ]の設定	4
[Excelのセル位置指定]の設定	5
[アクション]の設定	21

更新日：2021/4/8 Rebro2021対応

# データリンクの概要

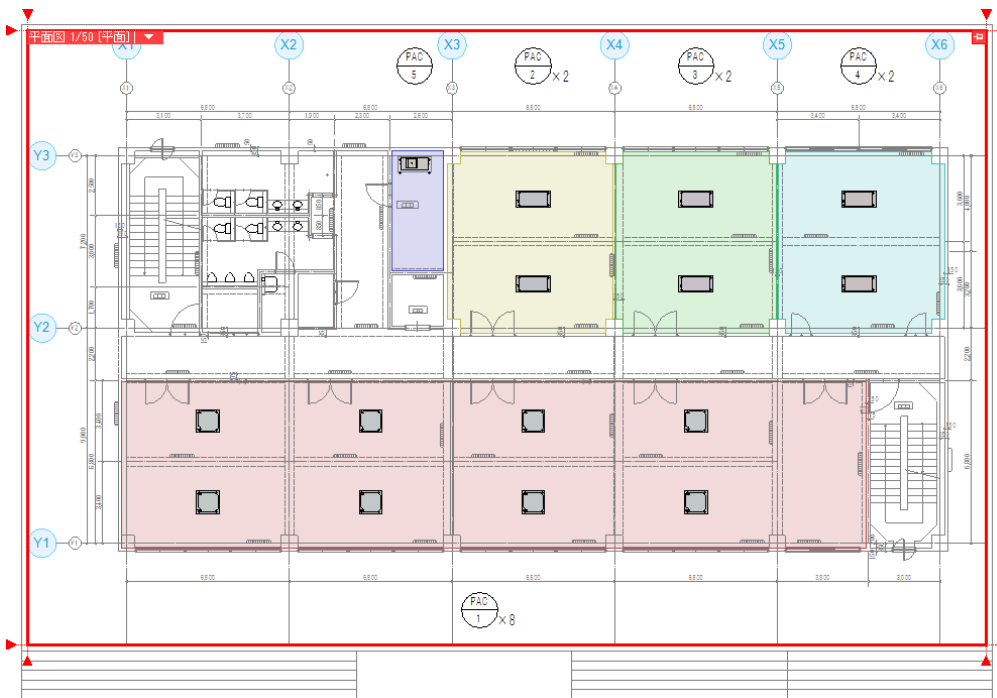
## データリンクとは

データリンクの機能では、

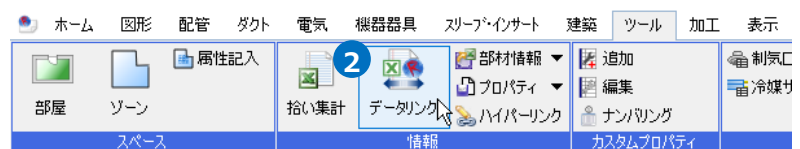
1. Excelで作成された機器表などをレプロ図面に取り込むことができます。
2. レプロ図面から機器表/発注表などをExcel出力することができます。
3. Excelで作成された機器表などを、図面に表として貼り付けることができます。  
貼り付けた表は、図面の要素のプロパティとリンクします。

## データリンクの起動

- 1 Excelと紐づける図面を開きます。



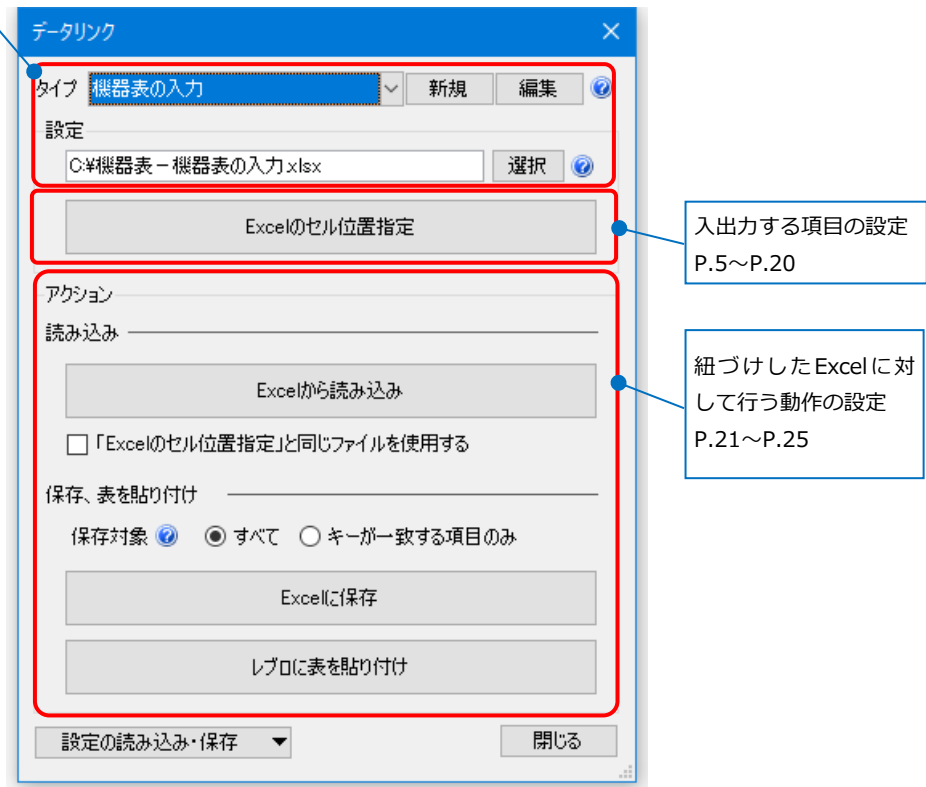
- 2 [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。



3 [データリンク]ダイアログが開きます。

[データリンク]ダイアログは下記のような構成になっています。

レプロとExcelで設定した内容のセット名と  
Excelファイルの指定  
P.4



● 補足説明

初めて[データリンク]コマンドを起動すると、[タイプの追加]ダイアログが先に表示されます。タイプ名を入力し、Excelファイルを選択すると、[データリンク]ダイアログが開きます。2回目以降は、直接[データリンク]ダイアログが開きます。

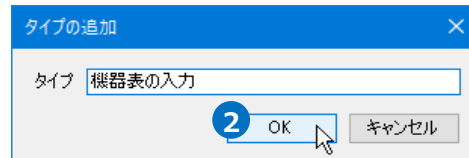
## [タイプ]の設定

タイプはレプロとExcelで設定した内容のセットです。

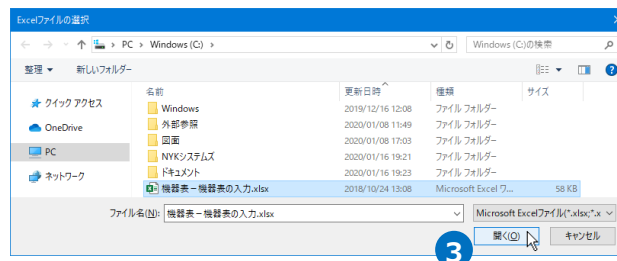
- 1 [新規]をクリックし、タイプを新しく作成します。



- 2 [タイプの追加]ダイアログが開きます。  
タイプ名を入力して[OK]をクリックします。

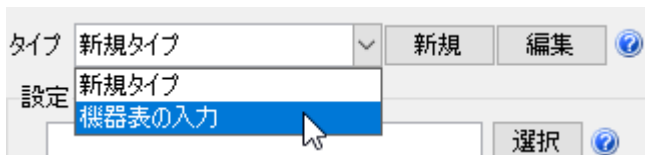


- 3 [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。データを読み込む、または出力するExcelファイルを選択し、[開く]をクリックします。  
入出力するExcelファイルを選択します。

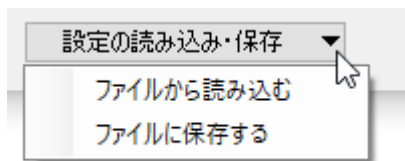


### ● 補足説明

一度作成したタイプは次回以降、プルダウンから選択することができます。



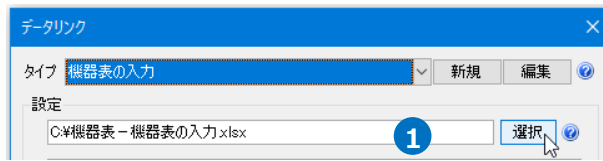
各タイプは、[設定の読み込み・保存]からファイルに保存し、別のPCで利用することができます。



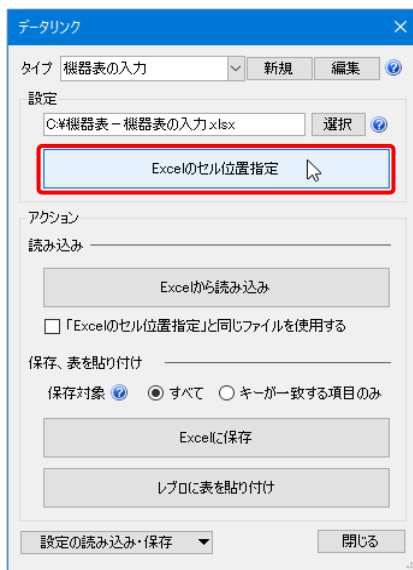
## [Excelのセル位置指定]の設定

レプロのプロパティ項目とExcelのセルの紐付けを行います。

- 1 選択したファイルはPCごとの絶対パスで記憶されます。はじめは、タイプの追加時に選択したExcelの場所が表示されています。変更する場合は、[選択]をクリックして、Excelファイルを選択します。

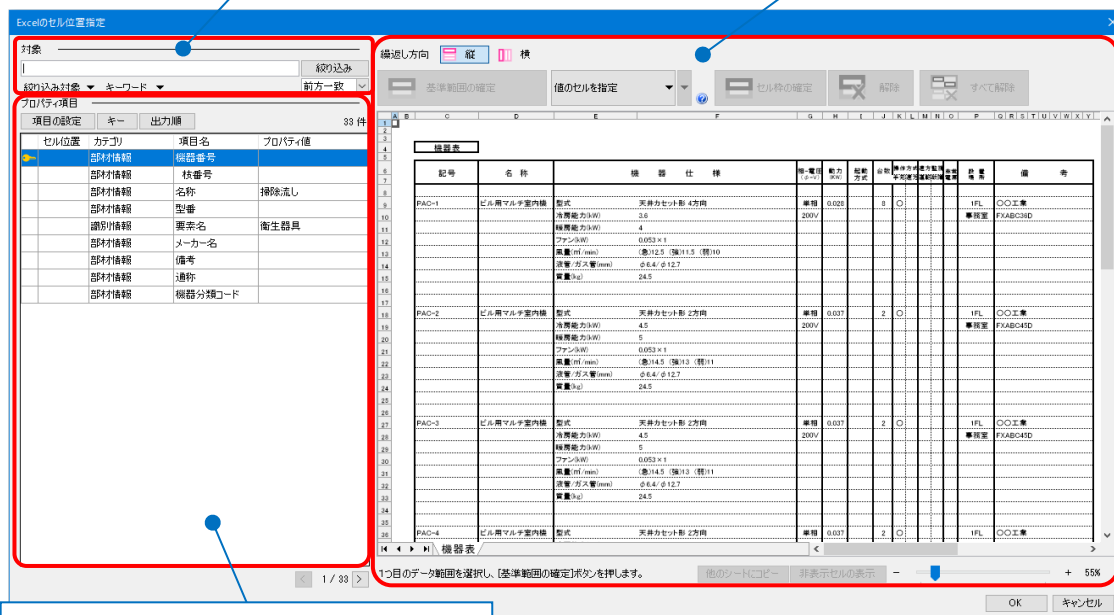


- 2 [Excelのセル位置指定]をクリックします。



Excelとリンクする対象要素の絞り込みの設定

選択したプロパティ項目を割り当てるExcelのセル位置の指定



Excelの値とリンクするプロパティ項目の選択とキーの設定

## [対象]の設定

[絞り込み対象][キーワード]で検索範囲を指定し、検索する文字列を入力して、[絞り込み]をクリックします。絞り込んだ結果、該当する要素がExcelとの情報交換の対象となります。

- 1 [絞り込み対象]で、検索する要素の絞り込みを行います。  
「フロア」「レイヤー」「要素」で絞り込むことができます。

対象 \_\_\_\_\_

PAC \_\_\_\_\_

絞り込み対象 ▼ キーワード ▼ 前方一致 ▼

文字列を入力し、検索ができます。

絞り込み対象

フロア レイヤー 要素(検索)

フロア

- 2FL(+4000)
- 1FL(±0)

外部参照を含む

絞り込み対象

フロア レイヤー 要素(検索)

区分  グループ

- 汎用
- 建築
- 空調-配管
- 空調-ダクト
- 衛生-給排水
- 衛生-消火
- 衛生-ガス
- 電気

外部参照を含む

絞り込み対象

フロア レイヤー 要素(検索)

キーワード検索の対象とする要素

- 文字
- 寸法線
- 3D図形
- 配管
- ダクト
- 電気
- 機器-器具
- 鋼材
- スリーブ-インサート
- 建築
- スペース

外部参照を含む

- 2 [キーワード]で、検索するプロパティ項目の絞り込みを行います。

対象 \_\_\_\_\_

PAC \_\_\_\_\_

絞り込み対象 ▼ キーワード ▼ 前方一致 ▼

文字列を入力し、検索ができます。

キーワード

- 共通、用途、材料
  - 名称  レイヤー
  - 用途  材料サブセット
- 部材情報
  - 機器番号  枝番号
  - 名称  型番
  - 略号  その他
- サイズとルート
  - サイズ  基準フロア
- 梁番号
  - 記号  枝番
- 電気
  - 条数記号  敷設方法  点滅区分
  - 盤名称  回路番号  添字
- テキスト、寸法値
  - 文字列  寸法値
  - フォント  サイズ
- カスタムプロパティ
  - IFC情報
  - 識別情報
    - GUID  要素名  要素ID
    - 外部参照ID  部材ID  単線記号ID

- 3 対象欄に入力した文字列に対して、検索する条件を「前方一致」「部分一致」「完全一致」から選択します。

- 4 [絞り込み]をクリックすると、検索条件に合致する図面上の要素が絞り込まれ、プロパティ情報が表示されます。



セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ値
	部材情報	機器番号	PAC-1
	部材情報	枝番号	
	部材情報	名称	ラウンドフローカセット形...
	部材情報	型番	36型
	識別情報	要素名	パッケージエアコン(ユーザ...
	部材情報	メーカー名	
	部材情報	備考	
	部材情報	通称	
	部材情報	機器分類コード	空調機 [50-05-300-00...

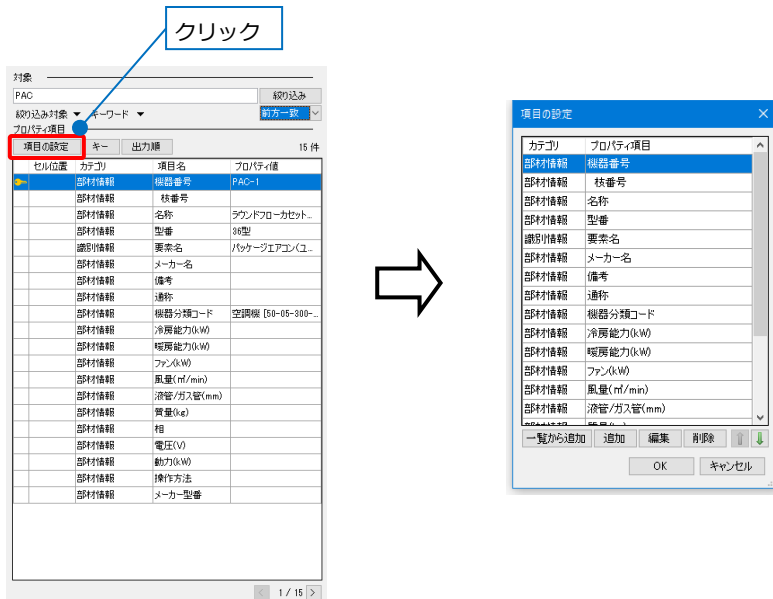
検索結果の件数が表示されます。

[部材情報]と[識別情報]-[要素名]が表示されま  
す。(絞り込んだ要素に[部材情報]がない場合は、  
[識別情報]-[要素名]のみ表示されます。)

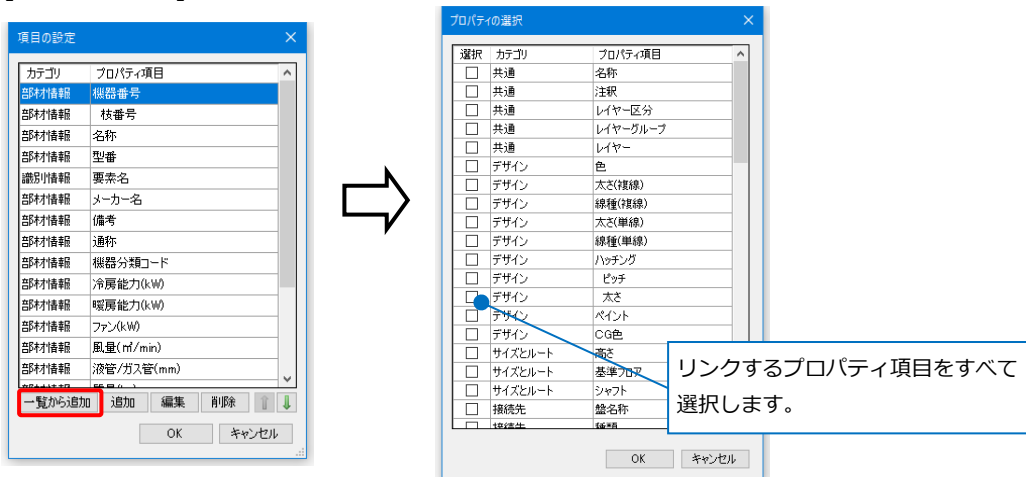
検索結果に表示する対象要素の  
切り替えができます。

## [プロパティ項目]の設定

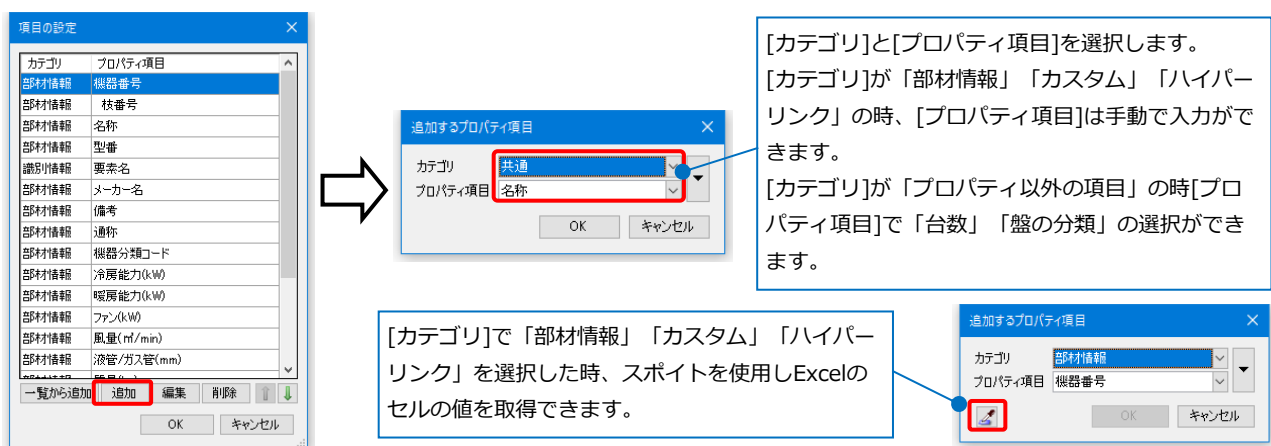
Excelの値とリンクするプロパティ項目を選択します。初期値は、[部材情報]と[識別情報]-[要素名]の項目が選択されています。[項目の設定]より新たにプロパティ項目の追加や不要な項目の削除ができます。



[一覧から追加]より絞り込んだ要素のプロパティ項目から選択し、追加することができます。



[追加]よりレプロのプロパティにない項目を設定することができます。





## [キー]の設定

[対象]で絞り込みした要素とExcelのデータを紐づけするためのキーを設定します。

キーは、[項目の設定]で選択したプロパティ項目から選択し、レブロの要素とExcelの両方に存在している項目を設定します。

The image shows a multi-layered '項目の設定' (Item Settings) dialog box on the left, with the '機器番号' (Equipment Number) property highlighted. On the right is the '機器表' (Equipment Table) with columns for '記号' (Symbol), '名称' (Name), '機種' (Model), '仕様' (Specs), '電圧' (Voltage), '出力' (Output), '状態' (Status), and '動作' (Operation). Red lines connect the '機器番号' property from the dialog to the '機器番号' column in the table for multiple rows (PAC-1 to PAC-5).

上の図の例では、機器番号をキーにすると、要素とExcelを引き当てることができます。

[キー]をクリックし、キーにするプロパティ項目を選択します。

The image shows the '項目の設定' (Item Settings) dialog box with the 'キー' (Key) tab selected. A callout box points to the 'キー' tab with the text: "キーを設定している項目に [🔑] が表示されます。" (A key icon is displayed for items where a key is set). Another callout box points to the '追加' (Add) button in the 'キー' dialog with the text: "キーが1つだけではレブロの要素とExcelの要素を紐づけられない場合、[追加]でキーを複数設定できます。" (If only one key is set, elements cannot be linked; you can set multiple keys using [Add]). A third callout box points to the arrow button in the 'キー' dialog with the text: "項目の並び順を変更します。並び順により上から優先されます。" (Change the order of items. Items are prioritized from top to bottom).

## [出力順]の設定

[出力順]よりExcelに出力、もしくは図面に表を貼り付けする時のデータを出力する順番を設定できます。

セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ値
	部材情報	機器番号	PAC-1
	部材情報	枝番号	
	部材情報	名称	ラウンドフロー-カセット...
	部材情報	型番	38型
	識別情報	要素名	パッケージエアコンユ...
	部材情報	メーカー名	
	部材情報	備考	
	部材情報	通称	
	部材情報	機器分類コード	空調機 [50-05-300-...
	部材情報	冷房能力(kW)	
	部材情報	暖房能力(kW)	
	部材情報	ファン回転	
	部材情報	風量(m³/min)	
	部材情報	液管/ガス管(mm)	
	部材情報	質量(kg)	
	部材情報	相	
	部材情報	電圧(V)	
	部材情報	動力(kW)	
	部材情報	操作方法	
	部材情報	メーカー型番	

カテゴリ	プロパティ項目	降順/昇順/設定順

レプロのプロパティ項目から選択することができます。

プロパティにない項目を追加することができます。

選択	カテゴリ	プロパティ項目
<input type="checkbox"/>	デザイン	太さ(単線)
<input type="checkbox"/>	デザイン	線種(単線)
<input type="checkbox"/>	デザイン	ハッチング
<input type="checkbox"/>	デザイン	ピッチ
<input type="checkbox"/>	デザイン	太さ
<input type="checkbox"/>	デザイン	ベイント
<input type="checkbox"/>	デザイン	CG色
<input type="checkbox"/>	サイズヒルト	高さ
<input checked="" type="checkbox"/>	サイズヒルト	基準フロア
<input type="checkbox"/>	サイズヒルト	シャフト
<input type="checkbox"/>	部材情報	機器番号
<input type="checkbox"/>	部材情報	枝番号
<input type="checkbox"/>	部材情報	名称
<input type="checkbox"/>	部材情報	型番
<input type="checkbox"/>	部材情報	メーカー名
<input type="checkbox"/>	部材情報	備考
<input type="checkbox"/>	部材情報	通称
<input type="checkbox"/>	部材情報	機器分類コード
<input type="checkbox"/>	検索先	盤名称
<input type="checkbox"/>	検索先	機種

順番を設定するプロパティ項目の[選択]の列にチェックを入れます。

カテゴリ	プロパティ項目	降順/昇順/設定順
サイズヒルト	基準フロア	昇順
		降順
		設定順

「昇順」または「降順」を選択します。部屋やフロアなど順番が定義されているプロパティ項目は、「設定順」も選択できます。

### Memo

出力順の設定は、[データリンク]ダイアログの「保存、表を貼り付け」の[保存対象]にて「すべて」を選択した時に、[Excelに保存]、[レプロに表を貼り付け]に反映します。(P.21参照)

出力順で複数のプロパティ項目を指定した場合、上段が優先され並び替えを行います。何も指定しない場合、キーに指定したプロパティ項目を基準に並べられます。

基準フロア順に並び替え、同じフロアで機器番号順に並び替えを行います。

データリンク

タイプ: 機器表の入力

設定: C:\機器表-機器表の入力.xlsx

アクション: 読み込み

保存、表を貼り付け

保存対象:  すべて  キーが一致する項目のみ

カテゴリ	プロパティ項目	降順/昇順/設定順
サイズヒルト	基準フロア	昇順
部材情報	機器番号	昇順

## セル位置の指定

- 要素1つ分のデータに該当する範囲をドラッグで囲み、[基準範囲の確定]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with a table containing equipment specifications. A red selection box highlights a row of data for equipment PAC-1. A blue callout bubble with the text 'ドラッグで囲む' (Surround with drag) points to the selection box.

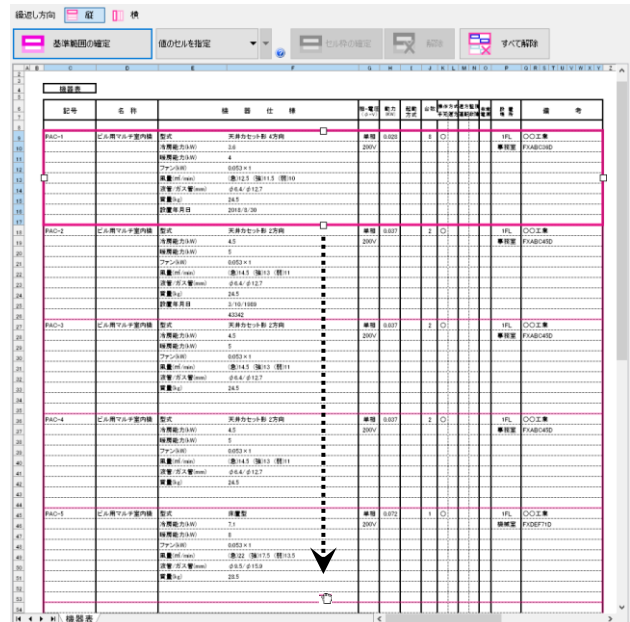
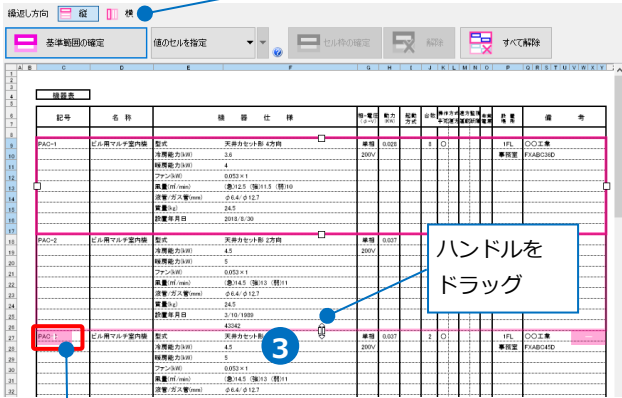
記号	名称	機器仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動方式	台数	操作方式	送風距離	送風範囲	送風電圧	設置場所	備考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向 冷房能力(kW) 3.6 暖房能力(kW) 4 ファン(kW) 0.053 × 1 風量(m <sup>3</sup> /min) (強)12.5 (弱)11.5 (特)10 液管/ガス管(mm) φ6.4/φ12.7 質量(kg) 24.5	単相 200V	0.028		8	○				1FL 事務室	○○工業 FXABC38D
PAC-2	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 2方向 冷房能力(kW) 4.5 暖房能力(kW) 5 ファン(kW) 0.053 × 1 風量(m <sup>3</sup> /min) (強)14.5 (弱)13 (特)11 液管/ガス管(mm) φ6.4/φ12.7 質量(kg) 24.5	単相 200V	0.037		2	○				1FL 事務室	○○工業 FXABC45D
PAC-3	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 2方向 冷房能力(kW) 4.5	単相 200V	0.037		2	○				1FL 事務室	○○工業 FXABC45D

- [基準範囲の確定]をクリックすると、基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。

The screenshot shows the same table as above, but now the entire row for PAC-1 is enclosed in a thick pink border, indicating that the standard range has been confirmed. The callout bubble is no longer present.

- 3 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。ここで決められた範囲内のデータが、レプロの要素にリンクする対象となります。

基準範囲を繰り返し適用する方向を[縦][横]から選択できます。

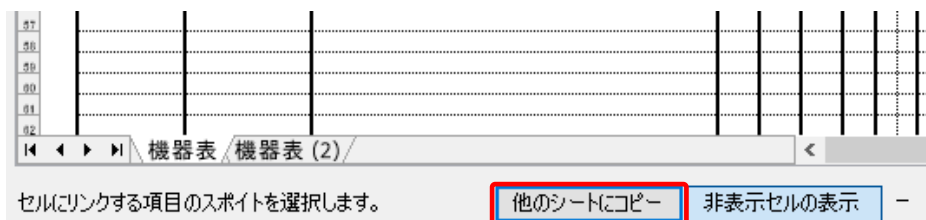


連続していない位置に表の続きがある場合は、「+」をクリックすると、離れた位置に枠の位置を指定することができます。

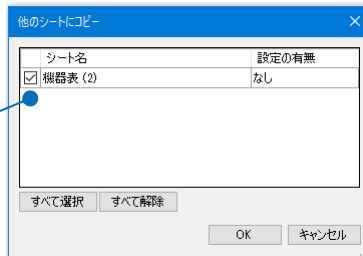


### Memo

シートが複数ある場合、[他のシートにコピー]より設定した範囲を別のシートにコピーすることができます。



コピーするシートにチェックを入れます。



元のExcelで非表示にしている行・列がある場合、表示状態を切り替えます。元のExcelの非表示行・列の表示状態は変わりません。

## セルにプロパティ項目を割り当て

基準範囲(濃いピンクの枠)内でセルを選択し、各セルにプロパティ項目を割り当てます。

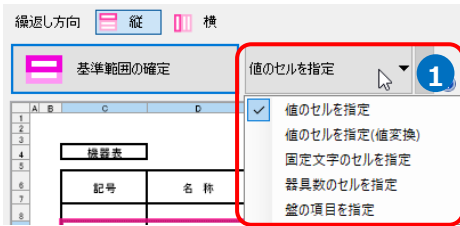
セルの関連付けの方法には、[値のセルを指定][値のセルを指定(値変換)]

[固定文字のセルを指定][器具数のセルを指定][盤の項目を指定]の5種類があります。

### 値のセルを指定

基準範囲のセルに対し、図面上の要素のプロパティ項目を1対1で割り当てます。

- 1 「値のセルを指定」を選択します。



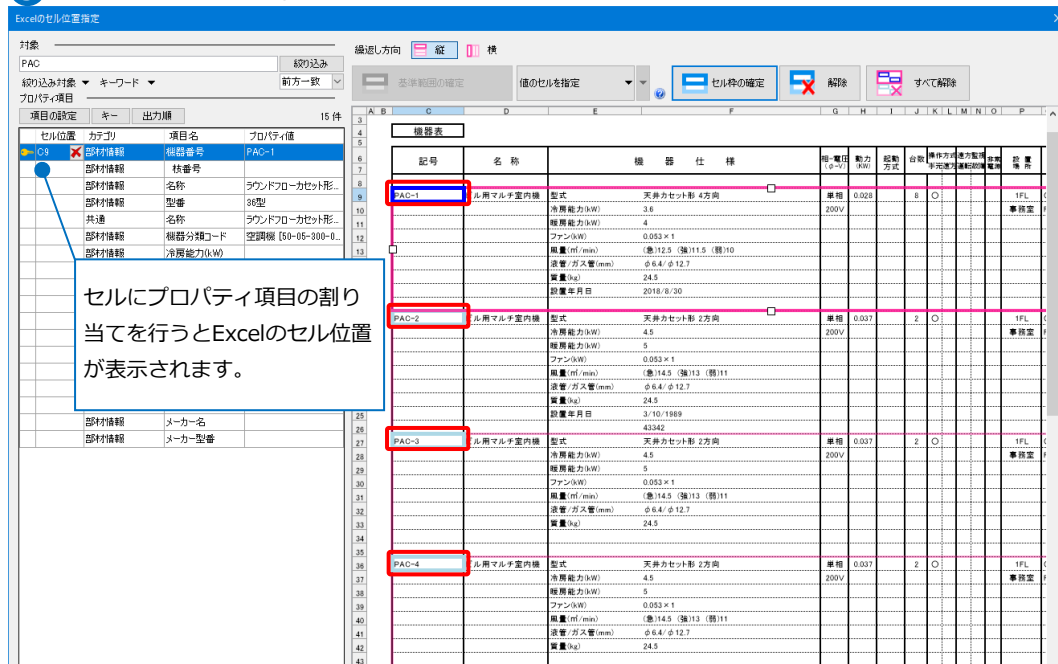
- 2 [プロパティ項目]からセルに割り当てるプロパティ項目を選択します。

- 3 2で選択した項目に割り当てるセルを指定します。

- 4 [セル枠の確定]をクリックします。



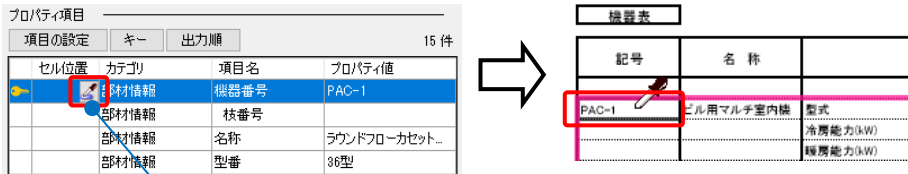
- 5 選択セルが青色の枠で囲われ、2つ目以降の繰り返し範囲の同じ位置のセルが水色の枠で囲われます。



● 補足説明

セルにプロパティ項目を割り当てる場合、スポイトを使用することができます。

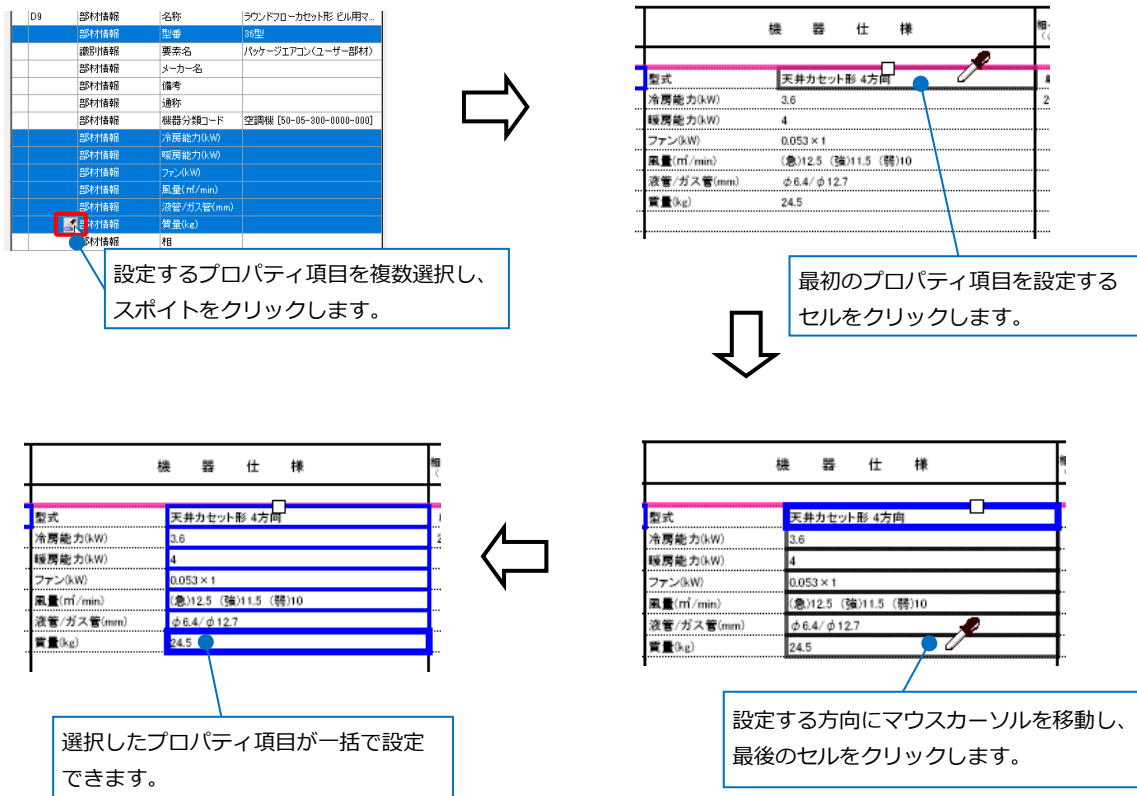
設定するプロパティ項目のスポイトをクリックし、セルを指定します。



スポイトを選択します。  
 スポイト選択をキャンセルする場合はコンテキストメニュー[キャンセル]またはBackspaceキーで行います。

複数のプロパティ項目を選択し、一括で連続するセルを指定することができます。

セルを指定後[セル枠の確定]をクリックします。



## 値のセルを指定(値変換)

Excel上の値と要素のプロパティ項目の値を変換して割り当てます。下記の例のように、表には「○」と表記されている値を「手元」や「遠隔」と読み替えたい場合等に使用します。

- 1 「値のセルを指定(値変換)」を選択します。
- 2 プロパティ項目より項目名を選択します。
- 3 該当のセルを選択し、[セル枠の確定]をクリックします。

The screenshot shows the software's main interface. At the top, a toolbar contains the menu '値のセルを指定(値変換)' (Value Cell Designation (Value Conversion)), which is highlighted with a red circle and the number '1'. Below the toolbar, a table lists property items (プロパティ項目) with columns for '項目位置' (Item Position), 'カテゴリ' (Category), '項目名' (Item Name), and 'プロパティ値' (Property Value). Item 'C9' is selected, and its details are shown in a sub-table. On the right, a larger table displays equipment specifications for three units (PAC-1, PAC-2, PAC-3). In the '動作方式' (Operation Mode) column for PAC-1, a cell contains the value '○'. A blue callout box with the text 'セルを選択' (Select Cell) and the number '3' points to this cell. The number '2' is also present near the property item table.

- 4 [値変換設定]ダイアログが開きます。  
Excelの値に対応するプロパティ項目の値を設定します。[編集]をクリックし、プロパティ項目の値を入力します。

The diagram illustrates the workflow for setting a value conversion. On the left, the '値変換設定' (Value Conversion Setting) dialog box is shown. It contains a table with two columns: 'Excel' and 'レボ'. The 'Excel' column has a cell with the value '○' selected. The 'レボ' column has a cell with the value '(空白)'. Below the table are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The '編集' button is highlighted with a mouse cursor. An arrow points from the '編集' button to the '編集' dialog box on the right. The '編集' dialog box has a table with 'Excel' and 'レボ' columns. The 'Excel' column has the value '○' and the 'レボ' column has the value '手元'. Below the table are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A callout box labeled 'Excelの値' (Excel Value) points to the '○' in the 'Excel' column, and another callout box labeled 'プロパティ項目の値' (Property Item Value) points to the '手元' in the 'レボ' column.

5 [追加]をクリックして、その他の変換方法を設定します。

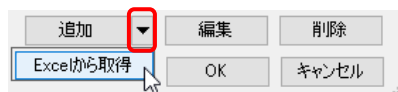
設定ができれば、[OK]をクリックします。

複数のセルの値の組み合わせでプロパティ項目の値を設定することができます。

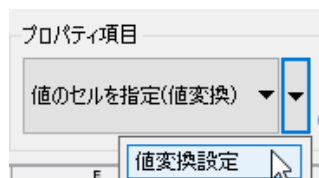


プロパティ項目の値

[追加]横の[▼]から[Excelから取得]をクリックするとExcelから値を自動で読み込むことができます。



Memo  
「値のセルを指定(値変換)」横の[▼]から[値変換設定]ダイアログを表示し、値を変更できます。



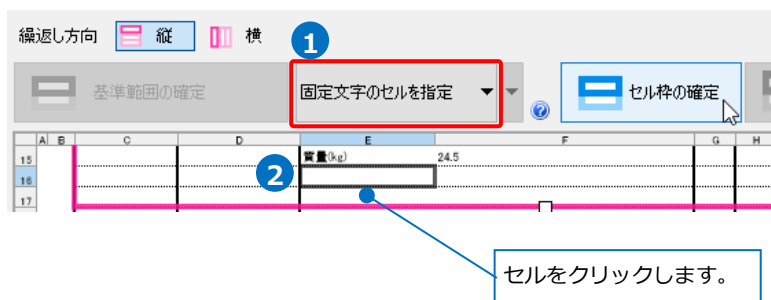


## 固定文字のセルを指定

プロパティと関連付けない固定文字を設定します。(項目名や単位等)

Excel上に値が入力されていなくても[Excelのセル位置指定]ダイアログ上で直接セルに文字を入力することができます。

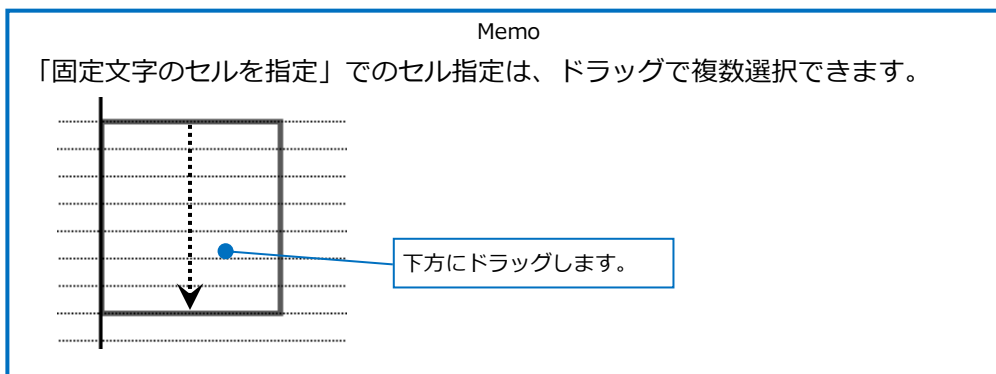
- 1 「固定文字のセルを指定」を選択します。
- 2 該当のセルを選択し、[セル枠の確定]をクリックします。



選択セルが緑色の枠で囲われ、2つ目以降の繰り返し範囲の同じ位置のセルが黄緑色の枠で囲われます。

機器表				
記号	名称	機器仕様	相電圧 (φ-V)	
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向	単相 200V
		冷房能力(kW)	3.6	
		暖房能力(kW)	4	
		ファン(kW)	0.053×1	
		風量(m <sup>3</sup> /min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10	
		送管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7	
		質量(kg)	24.5	
PAC-2	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 2方向	単相 200V
		冷房能力(kW)	4.5	
		暖房能力(kW)	5	
		ファン(kW)	0.053×1	
		風量(m <sup>3</sup> /min)	(急)14.5 (強)13 (弱)11	
		送管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7	
		質量(kg)	24.5	
PAC-3	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 2方向	単相 200V
		冷房能力(kW)	4.5	
		暖房能力(kW)	5	
		ファン(kW)	0.053×1	
		風量(m <sup>3</sup> /min)	(急)14.5 (強)13 (弱)11	
		送管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7	
		質量(kg)	24.5	

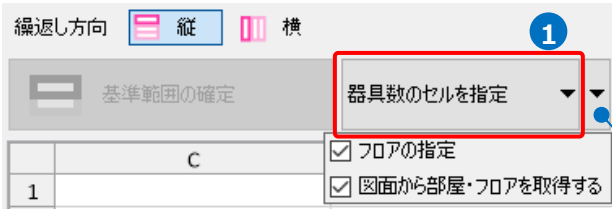
- 3 項目名を入力します。



## 器具数のセルを指定

フロアや部屋ごとに器具数を振り分けます。

- 1 「器具数のセルを指定」を選択します。



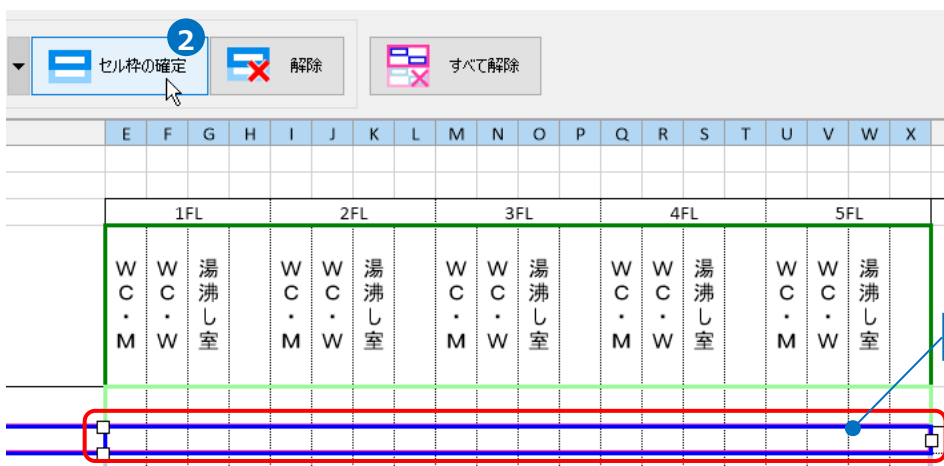
[器具数のセルを指定]横の[▼]をクリックします。

[フロアの指定]にチェックを入れると、Excelデータに部屋・フロアのセルを指定できます。

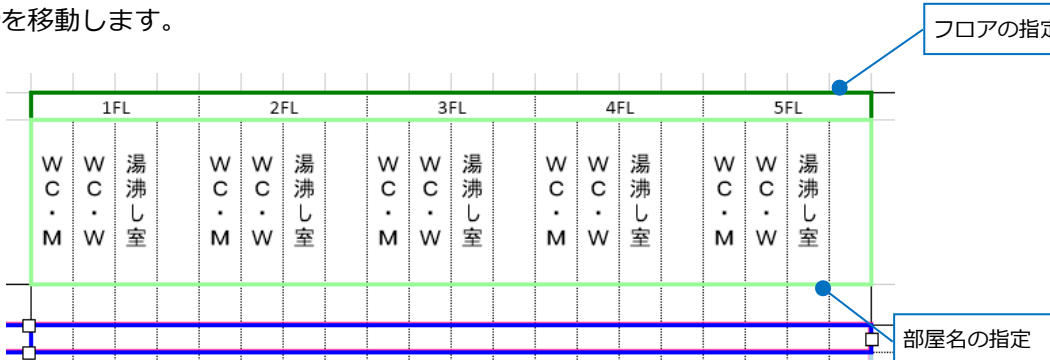
[フロアの指定]と[図面から部屋・フロアを取得する]にチェックを入れると、Excelデータに部屋・フロアのセルがない場合でも部屋・フロアの設定セルが追加されます。

[フロアの指定]のチェックを外し、[図面から部屋・フロアを取得する]にチェックを入れるとExcelデータに部屋のセルが追加されます。フロアのセルは追加されません。

- 2 セルを指定し、[セル枠の確定]をクリックします。



- 3 緑色の枠と黄緑色の枠が表示されます。緑色の枠でフロア、黄緑色の枠で部屋名を指定します。位置がずれている場合は、枠にカーソルを合わせマウスカーソルが[↕]に変わるところで左ドラッグし枠を移動します。



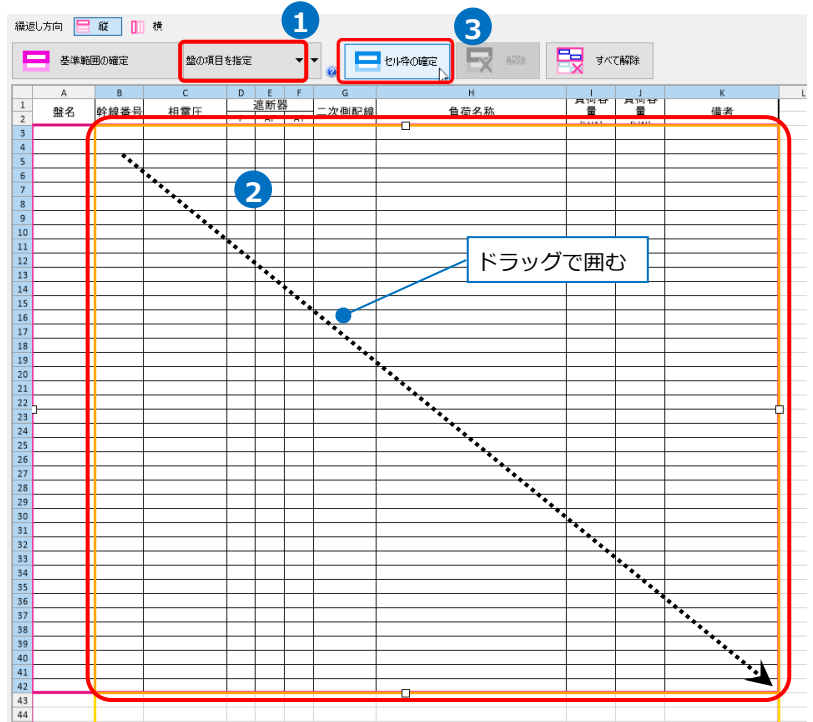
## 盤の項目を指定

[盤の管理]の情報をExcelとリンクさせることができます。

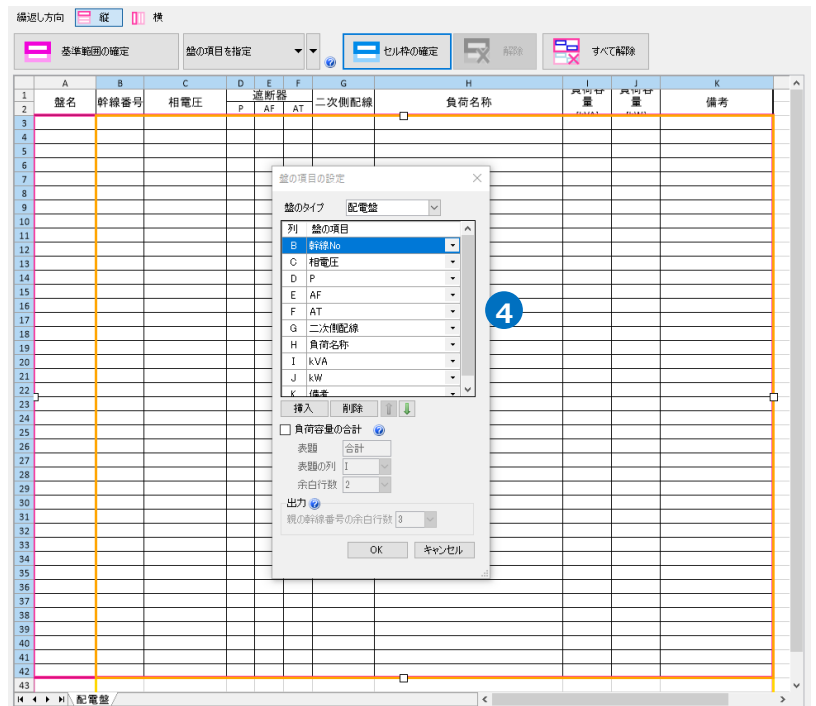
Memo

キーには、[部材情報]-[名称]を設定しておきます。

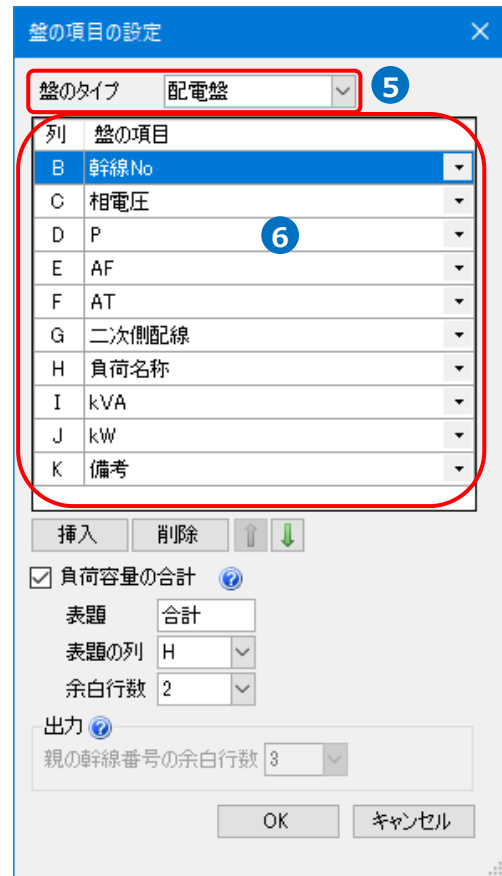
- ① 「盤の項目を指定」を選択します。
- ② 情報を入力したい範囲を選択します。
- ③ [セル枠の確定]をクリックします。



- ④ 選択したセル枠が橙色で囲まれ、2つ目以降の繰り返し範囲の同じ範囲が黄色に変わり、[盤の項目の設定]ダイアログが表示されます。

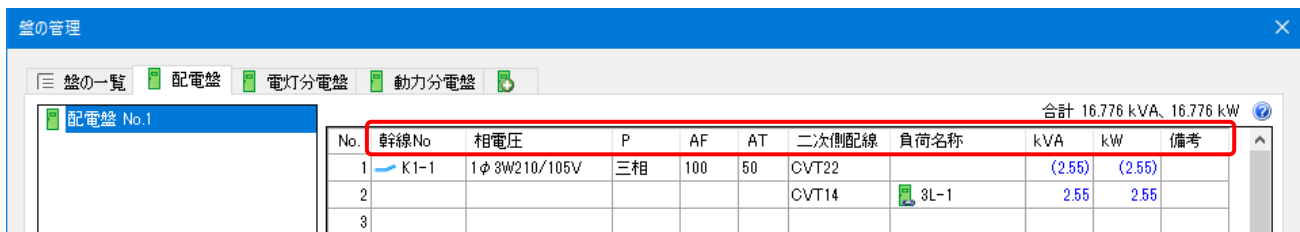


- 5 盤の項目を設定します。  
盤に割り当てられた「盤のタイプ」を選択します。  
「盤のタイプ」に合わせて、各項目に設定できる内容が変わります。
- 6 列ごとにリンクする項目をプルダウンから選択します。

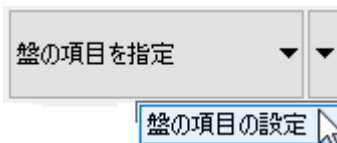


- 補足説明

[盤の項目の設定]で指定した内容は、[電気]タブ-[盤の管理]の項目とリンクします。



[盤の項目を指定]横の[▼]から[盤の項目の設定]ダイアログを表示し、値が変更できます。



- 7 設定が完了したら[OK]をクリックして、[盤の項目の設定]ダイアログを閉じます。

※詳しくはテクニカルガイド「[盤の管理・盤図の出力](#)」をご参照ください。

## [アクション]の設定

[Excelのセル位置指定]の設定の入力・出力を指定します。

アクション

読み込み

Excelから読み込み

「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用する

保存、表を貼り付け

保存対象   すべて  キーが一致する項目のみ

Excelに保存

レプロに表を貼り付け

設定の読み込み・保存

閉じる

ExcelファイルまたはCSVファイルのプロパティ情報を、図面上の要素のプロパティに読み込みます。  
P.21～P.22

要素のプロパティ情報をExcelファイルまたはCSVファイルに保存します。  
P.23～P.24

要素のプロパティ情報とリンクする表を図面上に貼り付けます。  
P.25～P.26

[Excelに保存]、[レプロに表を貼り付け]を行う時の対象を選択します。

- ・すべて：絞り込みをしたすべての要素のデータを出力します。テンプレートにデータを出力する場合はこちらを選択して下さい。
- ・キーが一致する項目のみ：絞り込みをした要素の内、選択しているExcelファイルに記入されているキーの値が一致する要素のみ出力します。Excelから情報を取り込み、レプロでプロパティを編集後、再びExcelに出力する場合はこちらを選択して下さい。

## Excelから読み込み

[Excelのセル位置指定]の設定に従い、Excelファイルの値を図面上の要素のプロパティに読み込みます。

① [Excelから読み込み]をクリックします。

データリンク

タイプ 機器表の入力

設定

C:\\*機器表 - 機器表の入力.xlsx

Excelのセル位置指定

アクション

読み込み

Excelから読み込み

「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用する

保存、表を貼り付け

保存対象   すべて  キーが一致する項目のみ

Excelに保存

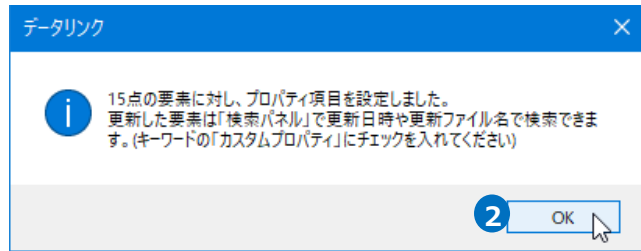
レプロに表を貼り付け

設定の読み込み・保存

閉じる

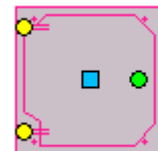
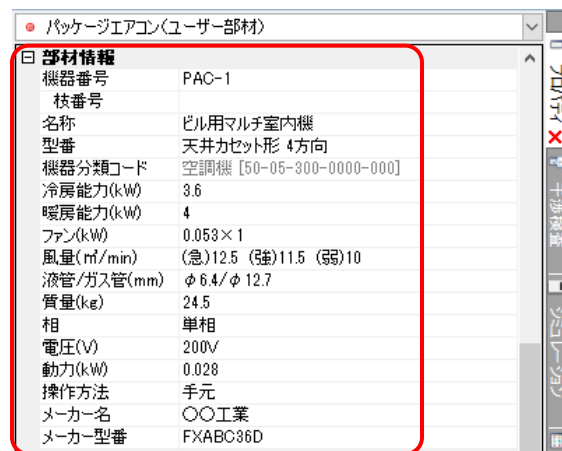
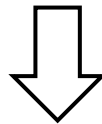
「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用するにチェックを入れると、[Excelのセル位置指定]で指定されたファイルが参照されます。参照するファイルを指定する場合は、チェックを外します。

- 2 プロパティ項目が設定された要素の数が表示されます。[OK]をクリックします。



- 3 指定した要素にプロパティ項目が設定されます。

記号	名称	機器仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方法 手元/リモコン	遠方監視 機能	送風 方向	送風 速度	設置 場所	備考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向	単相	0.028		8	○				1FL	○工業
		冷房能力(kW)	200V								事務室	FXABC36D
		暖房能力(kW)										
		ファン(kW)										
		風量(m <sup>3</sup> /min)										
		液管/ガス管(mm)										
		質量(kg)										



Memo

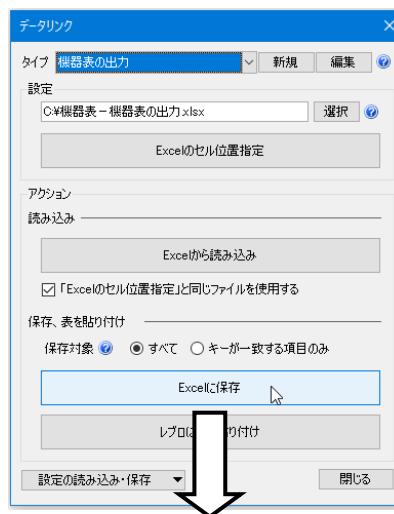
読み込みをすると、カスタムプロパティに[データリンク更新日時][データリンク更新ファイル]の項目が追加されます。

日 カスタム	
データリンク更新日時	2020/1/16 19:18:21
データリンク更新ファイル	機器表 - 機器表の入力.xlsx

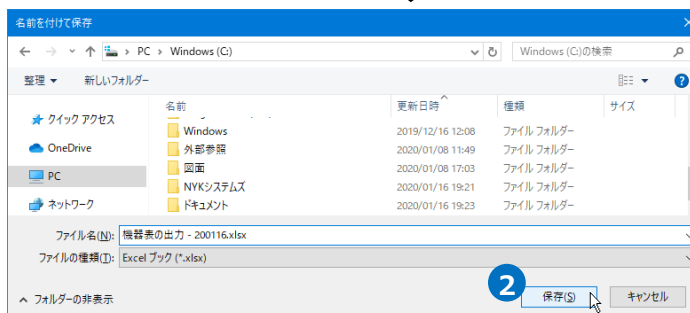
## Excelに保存

[Excelのセル位置指定]の設定に従い、図面上の要素のプロパティの値をExcelファイルに出力します。

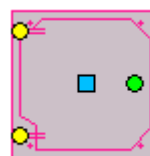
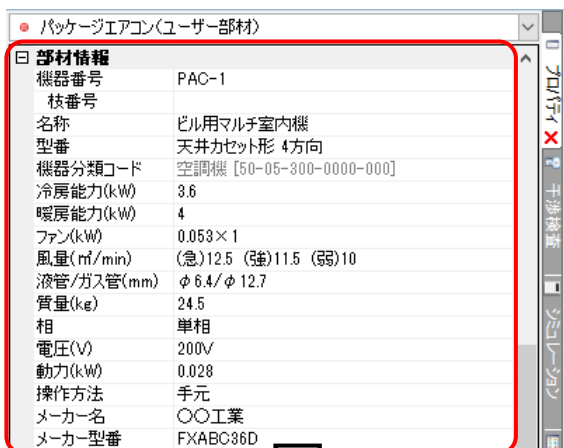
1 [Excelに保存]をクリックします。



2 [名前を付けて保存]ダイアログが開きます。保存場所を指定して、[保存]をクリックします。



3 プロパティ情報がExcel出力されます。

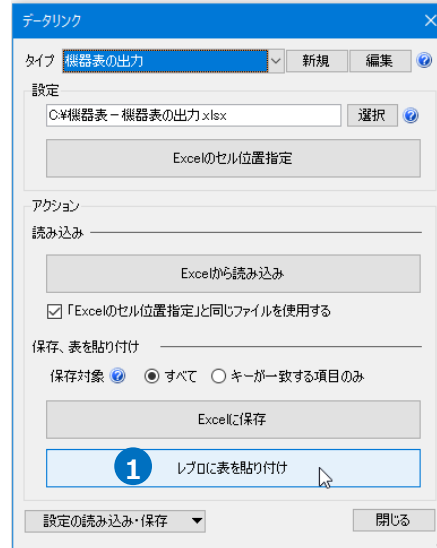


機器表		機器仕様		相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動方式	台数	操作方式 手元遠方	遠方監視 運転故障	非常電源	設置場所	備考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向	単相	0.028		8	○			1FL 事務室1	○○工業 FXABC36D
		冷房能力(kW)	3.6	200V								
		暖房能力(kW)	4									
		ファン(kW)	0.053×1									
		風量(m³/min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10									
		液管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7									
		質量(kg)	245									

## レブロに表を貼り付け

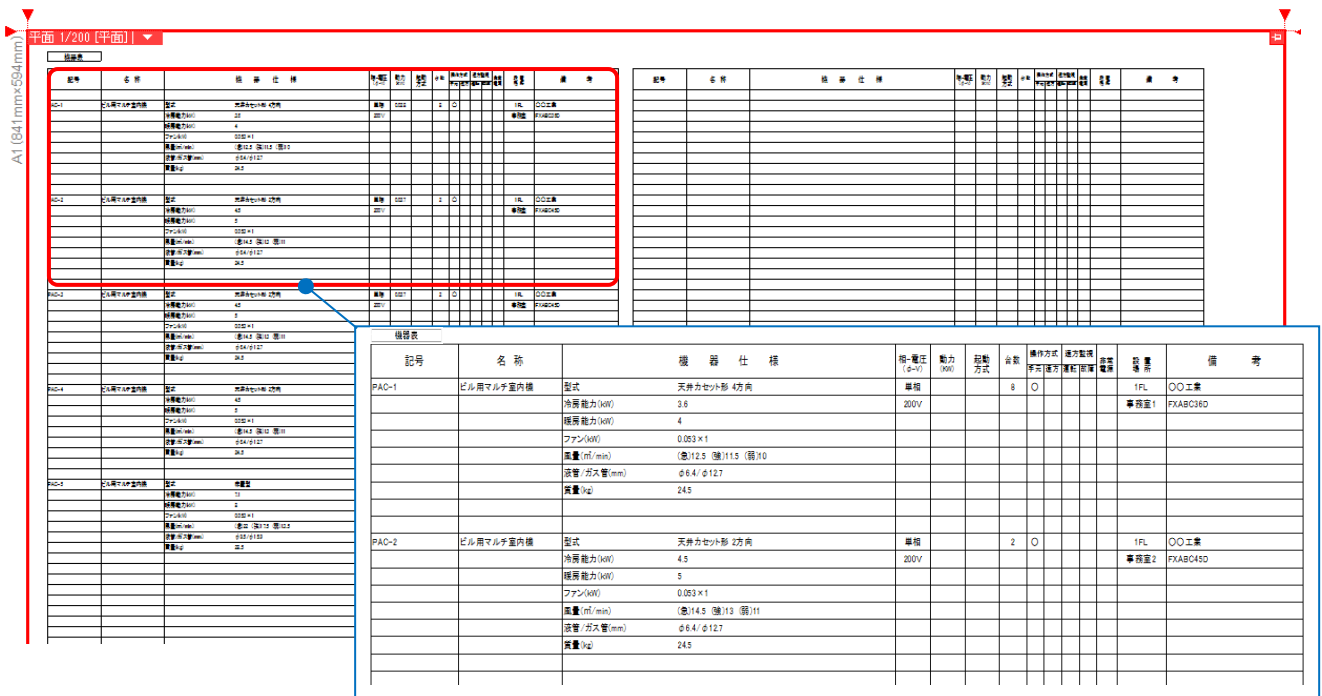
[Excelに保存]で出力されるExcelの表を図面上にレブロの表として貼り付けます。Excelファイルに含まれる、直線、円(楕円)、矩形、テキストボックスはレブロの要素として、表とグループ化された状態で貼り付けられます。

- 1 [レブロに表を貼り付け]をクリックします。



- 2 表を貼り付ける位置をクリックします。

- 3 表が図面に貼り付けられます。





- 補足説明

図面に貼り付けた表は要素とリンクしているため、要素のプロパティの値を変更すると貼り付けた表の値も変更され、貼り付けた表の値を変更すると要素のプロパティの値も変更されます。

ただし、要素の増減や外部参照の設定を変更した場合は、表を選択しコンテキストメニューから[表(データリンク)の更新]を選択して更新する必要があります。

Excelから読み込み、レプロに貼り付けた表の値を変更した時、変更できるレプロの情報は下記の通りです。外部参照図面の要素は変更できません。

- ・ 機器器具のプロパティの[部材情報]
- ・ 制気口のプロパティの[計算]-[風量]
- ・ カスタムプロパティ
- ・ ハイパーリンク
- ・ 盤の管理

